

大阪・メルボルン姉妹都市提携 30 周年記念市民交流ツアー 報告書

大阪・メルボルン姉妹都市協会

大阪・メルボルン姉妹都市協会では、大阪市とメルボルン市の姉妹都市提携 30 周年を記念し、メルボルン市での記念行事参加、メルボルン市民との交流を通じて両市の市民レベルの友好交流を深めることを目的として、市民交流ツアーを実施しました。

7 月 16 日（水）出発

午後 8 時、関西国際空港に参加者の皆さん 11 名が集合し、大阪国際交流センターの小橋常務理事からのお見送りの挨拶の後、メルボルンに向け、出発しました。

搭乗したジェットスター JQ018 便では、姉妹校のビクトリア州メルボルン郊外のラトローブ高校を訪問される大阪市立高校の生徒の皆さんと一緒にになりました。

17 日（木）メルボルン着 市内観光

ブリスベンを経由し、メルボルンのアバロン空港に午前 11 時に到着、市内のチャイナタウンで昼食の後、車窓から市内観光を行いました。

夕食はメルボルンの名物トラムカーレストランで、碁盤の目のような市内を巡りながらオーストラリア料理をいただきました。

18 日（金）大阪・メルボルン姉妹都市提携 30 周年記念交流事業参加など

クィーンズ・ビクトリア・ウィメンズ・センター訪問・交流

19 世紀末開院のオーストラリア初の婦人科病院クィーン・ビクトリア・ウィメンズ病院を前身として、1994 年に女性の権利と福祉向上のための非営利組織として設立されたクィーンズ・ビクトリア・ウィメンズ・センターを訪問しました。

ジェネラルマネージャーのバーデューさんから歓迎のご挨拶をいただいた後、スタッフの方々の手作りの朝食を囲みながら、和やかに歓談しました。

その後、貴重な映像を使ってセンターの歴史をご説明いただいたほか、女性のための様々な情報提供を行う 1 階インフォメーションセンター、NPO との協働など多目的に利用されている会議スペースなどをご案内いただきました。今回ツアーの参加者の中には大阪市女性国際交流グループの一員として約 10 年前にセンターを訪問された方もおられ、思い出深い再会となりました。



朝食を囲んでの懇談



インフォメーションセンター見学

都市再開発地域ドックランド Hub 見学～ビクトリア州ペタンク協会の皆さんとの交流

メルボルン市の都市再開発地域ドックランドにある Hub と名づけられた地域住民のための複合目的施設を訪問し、メルボルン市役所地域 Hub 担当のマジーさんから、施設の概要説明をお聞きした後、ビクトリア州ペタンク協会にも所属されている近隣の住民の方々と交流しました。

ペタンクとはフランス発祥のゲームのひとつで、オーストラリアでは子供から高齢者まで誰でも簡単に出来るコミュニティのスポーツとして、広く親しまれています。

あいにくの雨で、予定していたペタンクゲームはできませんでしたが、屋内で模範演技をみせていただきました。



地域の皆さんと交流

大阪・メルボルン姉妹都市提携 30 周年記念式典参加～タウンホール見学

正午にメルボルン市役所の市議会議場で行われた大阪・メルボルン姉妹都市提携 30 周年記念式典に参加しました。

ソー・メルボルン市長、平松大阪市長、多賀谷議長の挨拶の後、両市長による 30 周年記念宣言調印式、記念品の交換が行われました。

その後、ボランティアガイドのメーソンさんの案内で、歴史的建造物として観光名所ともなっている市庁舎（メルボルンタウンホール）内を見学しました。

メーソンさんは登録ボランティアとして、長年、市庁舎と市内の観光案内所でガイドとして活躍されています。

ヤラルーム、リージェントルームなどの各部屋や展示されている絵画などを説明しながら、メルボルン市の過去と現在の歴史を分かりやすく紹介いただきました。



市議会議場での記念式典の様子



メーソンさんによる市庁舎案内

記念植樹式

午後、市内中心部の緑豊かなキングストメインで行われた30周年記念植樹式に大阪市とメルボルン市の関係者、ヒースモントイースト小学校（大阪市立島屋小学校姉妹校）や大阪市立高校の皆さんとともに参加しました。

記念植樹の木は長寿松と呼ばれ、ソー・メルボルン市長が本年6月に来阪された時に、大阪歴史博物館の前で植樹したイチョウと同様、オーストラリアでは長寿のシンボルとされ、大阪とメルボルンの友好関係がいつまでも続くことを祈念しています。



長寿松を囲んで記念撮影

移民博物館「Kimono Osaka's Golden Age（着物展）」見学

～ メルボルン市役所主催 大阪・メルボルン姉妹都市提携30周年記念レセプション

多民族国家オーストラリアの移民の歴史を紹介する移民博物館では、本年5月から「Kimono Osaka's Golden Age」として着物展が開催されており、大阪歴史博物館から派遣された中野学芸員からご挨拶と着物展開催に至った経過などをお話いただきました。

移民博物館10周年、姉妹都市提携30周年を記念して、移民博物館から大阪歴史博物館に協力の打診があったこの着物展では、約150年前のものを中心とした展示物を通して、メルボルンが都市として発展を始めた時期に、日本の「天下の台所」として繁栄していた姉妹都市大阪の人々がどのような暮らしをしていたかを、メルボルン市民に紹介しています。

その後、博物館内で行われたメルボルン市主催の30周年記念レセプションに参加しました。短い時間ではありましたが、メルボルン市の関係者や、現地のビクトリア日本人会、オーストラリアジャパンサエティの皆さんと親しく歓談する機会となりました。



移民博物館の着物展会場



両市長、ビクトリア日本人会の皆さんと

19日（土）メルボルン郊外観光

メルボルン郊外の世界遺産、グレートオーシャンロードを観光しました。

20日(日) シドニーへ移動

JETAA シドニー、(財)自治体国際化協会シドニー事務所との懇談会

一行はメルボルンを後にし、午前10時40分発のJQ604便でシドニーへ移動、12時にキングスフォードスミス空港に到着しました。

市内の歴史地区ロックスでの昼食後、宿泊先ホテルの会議室でJETAA シドニー、(財)自治体国際化協会シドニー事務所との懇談会を行いました。

はじめに(財)自治体国際化協会シドニー事務所の吉川次長から、オーストラリア地方自治の調査研究など、シドニー事務所の活動内容についてご説明の後、JETAA シドニー会長のシャロンさんからご挨拶いただきました。

JETAA シドニーは、地方公共団体が総務省等と連携して実施するJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)参加者のOB、OGで、シドニー近郊に在住する方々で構成されており、日本から帰国後も両国の交流推進のために熱心に活動されています。

お茶を飲みながら、日本での思い出や今後の交流について、楽しいひと時となりました。



JETAA シドニーの皆さんとの懇談



シドニーオペラハウス前で記念撮影

21日(月)～23日(水) シドニー郊外観光、帰国

シドニー郊外の世界遺産にも指定されているブルーマウンテンや、ハンターバレーを観光しました。

23日(水)午後8時過ぎに、8日間のツアーを無事修了し、参加者の皆さん一行は元気に帰国しました。

協力

メルボルン市

クィーン・ビクトリア・ウィメンズセンター

ビクトリア州ペタンク協会

JETAA シドニー

(財)自治体国際化協会シドニー事務所

大阪・メルボルン姉妹都市提携30周年記念事業実行委員会



大阪・メルボルン姉妹都市協会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6 (財)大阪国際交流センター内

TEL:06 6772 9670 FAX 06 6772 9790

<http://www.sisterc.net/melbourne/>